柏床よしおの
よっしー通信
2026年2月　20号
発行　柏床由夫後援会
神石高原町油木乙23番地2　℡(0847-82-2022)
http://ww4.tiki.ne.jp/~kashiwatoko/
Email kashiwatoko@mx4.tiki.ne.jp

※「よっしー通信」の欠号と発刊の遅れについて

いつもご愛読いただきありがとうございます。

5月の連休明けに病気で入院し、新たな病気がわかった為、6月議会出席後、治療専念のため、8月から11月まで入院治療を重ねて来ました。その為、9月議会を欠席させていただきましたので、20号（9月議会分）が未発行なりました。

また、12月下旬から、1月下旬まで、後遺症障害で再入院しましたので、発行が遅れましたことお詫び申し上げます。

【12月定例会】

12月定例会は、12月6日から20日まで開かれ、条例改正や農業委員の選任の人事案件のほか、一般会計ほか2特別会計と農業集落排水事業会計の補正予算や、条例改正など42議案が原案どおり可決。一般質問は9人の議員が行いました。

一般会計補正額　2億2187万円

非常備消防管理経費ほか

2025年度（令和7年度）一般会計補正予算の主な事業は次のとおりです。

●非常備消防一般管理経費
消防団員の、火災時出動手当補正。402万円

●農業振興対策事業
農地中間管理機構集約協力交付金
3791万円

●豊松陽光の里管理運営経費
陽光の里トマト団地整備費　1516万円

●スコラ高原管理経費
落雷による修繕と設備整備費　802万円

●社会資本総合交付金事業
町道郷仙養原牛の首線整備工事増額4000万円

●現年発生道路橋りょう災害復旧事業
5700万円などです。

人事関係議案

●任命の同意
【教育委員会委員】
砂田香代子

●選任の同意
【農業委員】
吉原　敬之（油木）
平田　榮三（小畠）
佐伯　知省（階見）
松尾　武志（笹尾）
田邊　清子（高光）
伊勢村　正治（相渡）
西本　修二（父木野）
平元　正彦（近田）
松屋　章次（福永）
立原　孝生（井関）
渡邉　英治（時安）
髙原　敬二（小野）
高下　孝幸（油木）
三原　秀樹（下豊松）
（任期・令和7年12月19日から3年間）

議会・行財政改革特別委員会の設置

町の「第4次行財政改革プラン」の公表を受けて、議会でも今後の財政運営の検討など行う為に設置。
委員長　久保田　龍泉
副委員長　横尾　正文
委員　残り8名の議員

2月臨時議会

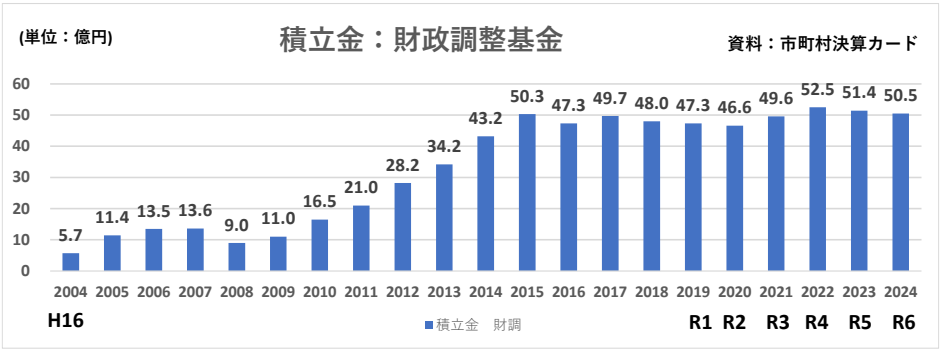
2月3日臨時議会が開催され、（12月専決処分）物価高対応子育て応援手当給付金、18歳までの子どもに対し一人2万円の支給に1676万円。

（1月専決処分）衆議院議員選挙執行経費補正、1283万円の承認のほか、今回、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金約1億4808万円を活用し、65歳以上、一人2万円、65歳以下、一人1万5千円分の「こうげん通貨券」の配布。子育て家庭の支援、児童扶養手当支給世帯に、一世帯当たり5万円給付金のほか、総額2億2200万円の補正を議決しました。

町の「第4次行財政改革プラン」が、令和7年度の計画作成を含め、4月から本格実施となります。

ここでは、町の普通貯金、財政調整基金の状況をグラフでお知らせします。

令和6年度決算では、約50・5億円の残高があります。



柏床議員の一般質問



令和８年度予算編成

問 新年度予算編成に向けた、基本的な考え方は。

答 歳入歳出のバランスを考慮。

柏床＝物価上昇に伴う予算の増加など、新年度予算編成に向けた、町長の基本的な考え方は。

町長＝令和６年度に策定した「第３次長期総合計画」に掲げるまちの将来像「人と自然が輝く高原のまち」を目指すなか、今年10月に策定した「第４次神石高原町行財政改革プラン（令和７～12年度）」に基づき、「未来を見据えた持続可能なまちづくり」「さらなる財政健全化に向けた取り組み」を効果的・効率的に推進していくこととしている。

柏床＝具体的には。

町長＝多様化する住民ニーズや人口減少、少子高齢化をはじめとする社会情勢など、町を取り巻く環境は常に変化し、行財政運営は厳しさを増している。対応すべき課題として、

・財政規律の堅持
・将来に責任のある行財政運営と持続可能なまちづくりの推進
・基金に頼らない収支が均衡した持続可能な財政構造への転換
・行政組織のスリム化
・職員の適正配置

を予算編成における視点の柱としている。

持続可能で健全な財政運営に向けた取り組みの着実な実行や補助金、及び事務事業の見直しの取り組みを確実に予算に反映させる。

柏床＝入江町長、２０１６年、平成29年12月に就任され、実質は２０１７年平成29年からが、かじ取りをされている。令和６年まで、８年間の町政運営の中で、歳入から歳出を引いた、実質単年度収支が８年のうち６年赤字、２年黒字の状況だ。ひとえには言えないが繰出し金の多い年もある。やはり長い目を見て、単的に行財政改革でお金を節約するのもあるが、過去の財政運営も振り返って見ないと、お金がいる、では住民負担を増やしますよ、だけじゃ済まないと思うが。長く財政にかかわってきた副町長はどのように考えられているのか。

副町長＝特に近年、実質単年度収支が赤字になっている。元々合併して特別に多くの交付税措置を受けていたが、合併時に相当の財政的に非常に厳しい状況、実質公債費比率も18％を超え、人件費の削減、公債費の削減、公共施設の削減、３つの過剰に職員一丸となって財政健全化の取り組みを進めてきた。

特に平成29年度以降、非常に物件費と補助費の額が相当増えてきた。かがやきネットの設備更新にも多額の費用がかかっている。物件費では委託費が増加、補助費では、近年の少子化、高齢化対策、そして地方創生の取り組みの関係で、あらゆる補助金をかなり手厚く支出をしてきたことが、こうした数字に表れているのではと考えている。

柏床＝子育てと高齢者福祉施策は町の重要施策。町長の政策施策を凍結して対応する考えは。

町長＝様々な事業をすべてゼロベースで考え取り組み、町の政策として進めているものを全部辞めるのではなくメリハリをつけながら進めていきたい。

※ここで用語解説

自治体の決算は、単年度の実質収支です。

自治体の「黒字」「赤字」決算は、実質収支で判断します。

単年度収支は、今年の実質収支額から前年度の実質収支額を差し引いた額。

実質単年度収支は、右の計算式のとおり、積立金と起債の繰上償還金を加え、積立金の取崩しを引いた額。積立金を使わなかったときの金額の単年度収支額です。

この、実質単年度収支が、赤字が続くと積立金が減少することになります。

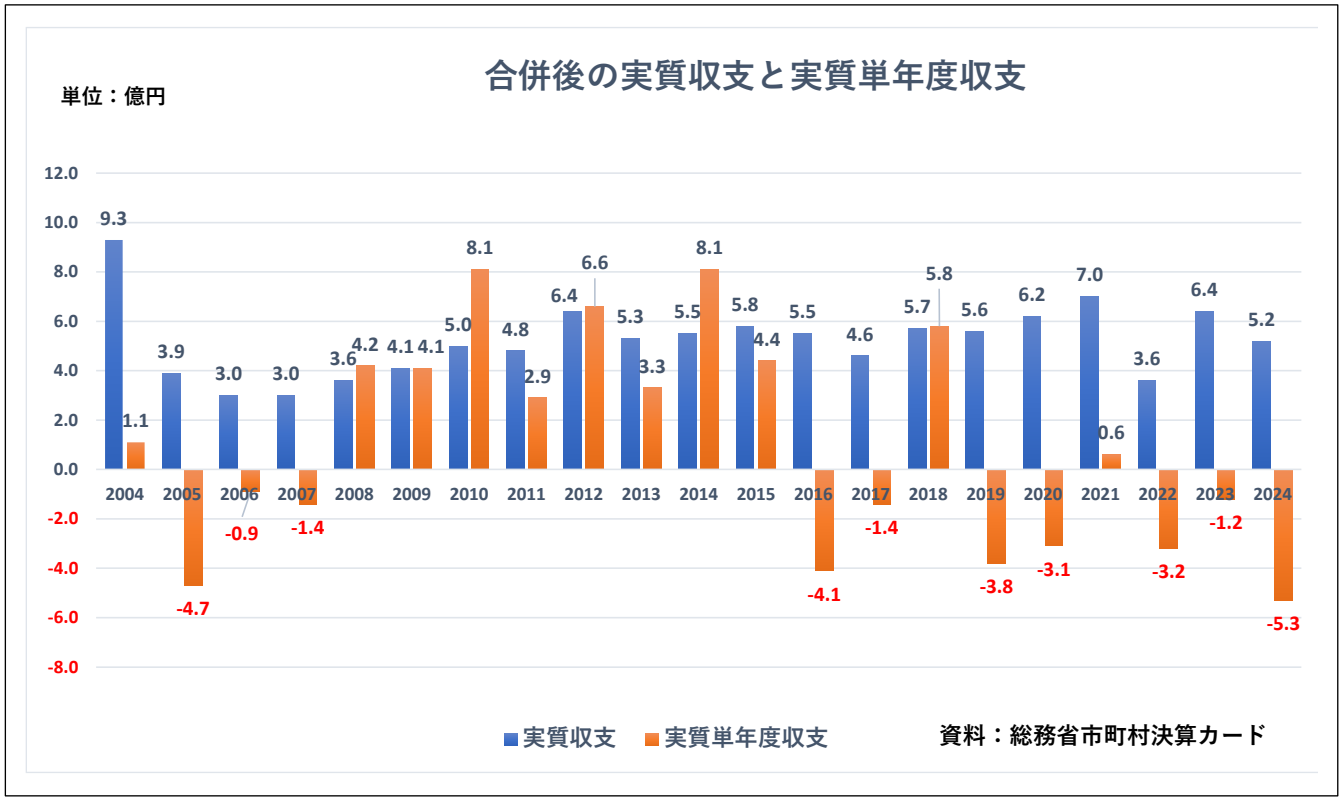
区　分	2023(R5)	2024(R6)
歳　入　A	12,843,815	12,949,828
歳　出　B	12,114,287	12,384,299
歳入歳出差引　C	729,528	565,529
横年度へ繰越すべき財源　D	85,369	40,556
実質収支 E(C-D)	644,159	524,973
単年度収支　F	286,632	-119,186
積立金　G	17,791	18,378
繰上償還金　H		13,200
積立金取崩し額　I	421,000	441,000
実質単年度収支　J	-116,577	-528,608

J＝（F+G+H-I）

では、一般質問に戻ります。

柏床＝地方交付税は、平成２００４年度、平成16年度の決算では約58億ほどの歳入額、２０２３年、令和６年で約52億７千万となっている。実質単年度収支が８年間の内、赤字が６年間というのは、ちょっと使いすぎという結論になるのではないかと思うが町長はどの様に考えるのか。

町長＝補助費の増額など魅力づくりというところも、施策を進めてきた結果と思うが、近年はやはり物価高、物件費もかなりの額があるが、それが３％上がるだけでも数千万円上がるということで、また人件費ももちろん同じ状況。そういった町が指導している要因ではない要因で、歳出が増えてきたというところもある。いずれにしても第４次行財政改革プランを今進めているので、それに基づきながら歳入歳出のバランスをしっかりとれるような予算編成をしていきたいと考えている。（チェックしますよ）



保育所運営

問　**直営保育所２所の運営と課題は**

答　**保育士確保が困難**

柏床＝こばたけ保育所、いずみ保育所の運営状況について、延長保育などを含め保育士の確保などの課題があると聞く。それぞれ現状と課題は。

町長＝こばたけ保育所及びいずみ保育所における保育士に関する現状は、ご指摘のとおり保育業務に従事する職員確保については、非常に苦慮している。

特に児童の数が多い、こばたけ保育所は、保育職員の不足により、現在、これ以上の入所については、対応が厳しい状況である。

各保育所における保育士の配置状況については、正規職員として、２保育所とも、所長の他、保育士を３名配置している。うち、こばたけ保育所については、内１名が休職しているので、現在は２名の体制となっている。

保育業務における会計年度任用職員の配置については、保育士資格を有しない職員も含め、こばたけ保育所でフルタイム職員６名、パート職員５名で、いずみ保育所については、フルタイム職員２名、パート職員５名である。

次に、保育所運営の課題は、勤務体系が特殊で、早出・遅出の勤務時間や土曜日の勤務もあり、そういった特別な時間帯での保育士の配置が厳しいこと、保育業務にあたっている職員自身も保護者の場合が多く、子どもの学校行事等の際は複数の保育士が同時に休暇となる場合がある。

また、我が子の急な体調不良の際には、どうしても、保育中での休暇となることなど、保育士配置が、特に難しいところがある。

当然、職員自らの有給休暇



（こばたけ保育所）

や特別休暇の取得も大切な権利であり、必要な措置であることから、日々の保育士配置には、いずれの保育所長も、大変苦慮しているのが現状である。

次に、会計年度任用職員での保育士等の募集は、現在も継続して公募を行っており、また、いろいろな方にも直接、お声掛けをしているが、保育士免許をお持ちの方がそもそも見つからない状況と、保育補助の応募もないことから、保育職員の充実はおろか、退職後の補充すらままならないというのが、現状であり、課題でもある。このことは町内保育施設どこも同じような状況である。

そうした課題への対応策としては、一般的には「正規職員の採用」が考えられるが、町内の出生状況の現状や、将来の子どもの推移を想定すると、正規職員として保育士を複数採用することは、現実的な選択肢ではないと考えている。

柏床＝それぞれの保育所の一時保育の状況は。

子育て応援課長＝一時保育の状況は、こばたけ保育所は現在、一時保育は預かりをしておりません。いずみ保育所は、土曜日にお2人、2週間ごとに1人お預かりをしている。土曜日が2人で0歳と1歳です。2週間ごとにお1人が0歳と1歳である。

柏床＝こばたけ保育所は、なぜ一時保育をしていないのか。

子育て応援課長＝今、一時保育のご希望が全てお預かりをしている状況で、現状はご希望がない。

もしあれば、こばたけ保育所で年齢にもよるが、0歳1歳となると現状厳しいと思っていることから、事案が発生したときには、保護者の方に、くるみ保育所やどんぐり幼稚園への相談はさせていただくが、中止をしていることではない。

他に、くるみ保育所、油木保育所、とよまつ保育所を町の指定管理者制度で運営している。

措置状況　2025.12.1現

区　分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
こばたけ保育所	6	10	9	7	10	11	53
いずみ保育所	4	2	6	5	8	4	29

地域の話題

細田営農組合年末餅つき

細田営農組合では、昨年12月30日に恒例の餅つきを行いました。

5世帯6人で、14臼の餅つきました。特に豆餅はそれぞれの家庭の味があって、黒豆、ピーナツや砂糖・塩など調合は様々。高齢化が進む集落にとって家庭の味が何とか守られています。高齢化が進んでいますが、みんなで頑張ってます。



出来たぞ、お餅～

12月議会を終えて

昨年5月に、とある病気を発病しました。そのため、9月議会は全休、12月議会も通院をしながらの議会出席となりました。

12月は、令和8年度の予算編成時期、今年度当初、4億9000万円の財政調整基金（普通貯金）を取崩して当初予算を作成した経過もあり、一般質問では、町長に予算編成の基本的考え方について質問しました。本誌の表に見られるように、近年、実質単年度収支が赤字続きとなっており、この状況が進むと貯金に頼らなければならない状況になりつつあります。

本町は、子育て支援と高齢者福祉で町づくりをしてきました。

「人と自然が輝く町」神石高原町であるべき。